

2023年5月15日

令和5年度 第1回応用物理学会北海道支部役員会 議事録

日時: 2023年5月12日(水) 16:45-12:00

場所: 北海道大学工学部 A 棟 A1-70 室

参加者(順不同、敬称略):

植村 哲也(支部長)、森田 隆二(会計監査)、山崎 憲慈(庶務幹事)、山根 啓作(庶務幹事)、小田 久哉(千歳幹事)、篁 耕司(人材育成幹事)、盛 鵬(北見幹事)、木場 隆之(前北見幹事)、片山 司(会計幹事)、石島 歩(会計幹事)、田口 敦清(日本光学会幹事)、本久 順一(支部評議員)、戸田 泰則(支部評議員)、柏本 史郎(庶務幹事) 以上 14 名

欠席者(順不同、敬称略):

グエン タン ソン(釧路幹事)、中村 基訓(旭川幹事)、佐藤 勉(室蘭幹事)、柳谷俊一(函館幹事) 以上 4 名

事務局: 惣伊田 ゆり

議事録作成者: 柏本 史郎(庶務幹事)

● 新旧の支部役員の引き継ぎ(資料 1)

植村支部長より令和5年度応用物理学会北海道支部役員について説明があり、出席した新旧支部役員の自己紹介がなされた。

議題:

● 議題 1第 59 回北海道支部学術講演会について (資料 2-1, 2-2)

- 山崎庶務幹事より第 59 回北海道支部学術講演会について説明があり承認された。
- ◇ 日程・場所は令和 6 年 1 月 6・7 日(土・日)・北海道大学学術交流会館を予定。
- ◇ 場所はすでに山根庶務幹事により予約済み。
- ◇ 懸念事項として、手狭な部屋(机が少ない)があるが他に北大内で適当な会場が現状見つかっていないため、他の部屋から机・椅子を運んで対処することを予定。
- ◇ 講演会用、役員用、アルバイト控室用、ジュニアセッションコンテストポスター用に使用する部屋・ホールを利用時間に応じて借用予定で、施設使用料の見積額は 232,200 円。
- ◇ 植村支部長より、開催時期が 1 月のため事業としては来年度(令和 6 年度)開催の扱いとなることの確認がなされた。
- ◇ 日本光学会との共催について、植村支部長から田口日本光学会幹事に承諾の確認がなされ、山崎庶務幹事から共催依頼書の送付予定であることが報告された。

● **議題 2 第 60 回北海道支部学術講演会について (資料なし)**

- 植村支部長、山崎庶務幹事より第 60 回北海道支部学術講演会について説明があり、釧路での現地開催および開催時期の検討継続について承認された。
- ◇ 釧路での開催が予定されていることと、会場幹事のソノ釧路幹事から釧路現地開催の件について承知されている旨の返事をもらっていることの報告がなされた。
- ◇ 例年通りの 1 月開催は冬期間の交通機関の乱れによる影響が危惧されることから、植村支部長により日程変更の原案として 10 月または 11 月開催の提案があった。田口日本光学会幹事から日本光学会の年次大会スケジュール、箕人材育成幹事からジュニアセッションコンテストに関連して高等学校および高等専門学校の事情が説明され、他に 7 月開催の可能性についても議論された。これらを踏まえ引き続き検討を続け、最終決定は 8 月の来年度「事業計画」決定前までに行うことが植村支部長から提案され承認された。

● **議題 3 旅費支援事業の実施状況について (資料 3)**

- 旅費支援事業の実施状況について、片山会計幹事から説明がなされ、承認された。
- ◇ 年 4 回(支部学術講演会、春季大会、SSDM、秋季大会)、例年は予算および支出が 50 万円程度で、支出が若干多い。
- ◇ 今年度の現状は支部学術講演会で申請 5 名・支給 1 名、春季大会で申請 8 名・支給 6 名で、計 88,800 円の支出がなされていることが報告された。
- ◇ 今後の支出見通しとして、SSDM は例年 0~1 名、秋季大会は 30 万円程度が想定され、今年度全体として 40 万円程度の支出が見込まれることが説明された。
- ◇ COVID-19 の影響により、2 年前から支出がほぼなされておらず、今年度も 10 万円程度残る見込みであることが確認された。

● **議題 4 来年度の予算申請について(資料なし)**

- 来年度の予算申請について、山崎庶務幹事から説明がなされた。
- ◇ 本部に申請する予算として学術・教育奨励基金と将来基金があり、学術奨励・教育基金の申請期限が 5 月末と 10 月末の例年通り 2 回の募集があることと、将来基金は申請期限が 4 月末、8 月末、12 月末の 3 回設けられていることが説明された。
- ◇ 学術・教育奨励基金について、リフレッシュ理科教室が本部予算に変更になったため、現状では例年通りの申請はしていないが、ジュニアセッションコンテストの予算として植村支部長から箕人材育成幹事に申請の依頼がなされた。
- ◇ 今後の見通しとして、ジュニアセッションコンテストにかかる費用見込みや学術奨励・教育基金の今後の予算推移の情報提供、また実施内容・形態の変更の可能性について意見交換がなされた。

● **議題 5 その他**

- 特になし。

報告事項:

● **報告事項 1 令和 5 年度事業計画 (資料 4-1, 4-2, 4-3)**

- 令和 5 年度事業計画について山崎庶務幹事より報告があった。
  - ◇ 令和 4 年 8 月末に提出した事業計画書に沿って基本方針、特記事項、実施事項が説明された。
  - ◇ 前年度からの大きな変更点としてリフレッシュ理科教室の補助金が学術・教育奨励金から本部予算に変更になったことと、すでに交付済みとの報告がなされた。
  - ◇ 実施事項は例年通りで 1. 学術講演会(実施済み)および研究会等、2. リフレッシュ理科教室(北見開催は実施済み、報告書も提出済み)、3. 関連する講演会の共催・後援、その他。
  - ◇ リフレッシュ理科教室は申請額 55 万円に対し、実際の予算配分は 57 万円であったことが報告された。
  - ◇ 昨年度の北科大開催の参加人数が 4 人と少なく、担当者からも周知が不十分であったとの報告があったため、今年度は北大開催と広報活動を連携して行うことを検討しているとの説明がなされた。

● **報告事項 2 令和 5 年度予算報告 (資料 5)**

- 令和 5 年度予算について片山会計幹事より報告があった。
  - ◇ 初めに、令和 3 年度と比べて令和 4 年度の残高が大幅に減ることが予想されていたが、実際にはそこまで減っていないことが説明された。
  - ◇ すでに実施済みの学術講演会(室蘭工業大学)に対し、室蘭市からの補助金(20 万円)があったことが報告された。
  - ◇ リフレッシュ理科教室の本部からの予算配分は 57 万円で(資料 4-3)、事業収益 20 万円と合わせて 77 万円の収入。支出は例年通りの 100 万円程度の見込み。
  - ◇ 学生旅費支援事業の予算は 51 万円(詳細は議題 3)。
  - ◇ 令和 5 年度予算における残高は、令和 3 年度と同程度の約 200 万円。

● **報告事項 3 その他**

- リフレッシュ理科教室札幌開催の会場の仮予約が済んでいることが山崎庶務幹事より報告された。
  - ◇ 日程と会場は 10 月 20~21 日、北海道大学工学部アカデミックラウンジ 1、2。
  - ◇ 講師取りまとめ役の大坂先生が御退職のため、後任について照会を予定していることが報告された。
- 植村支部長から、8 月の次年度予算申請に合わせて夏頃に次回役員会を開催することの確認があった。

以上